

2023年11月10日

沖縄県がん診療連携協議会
委員各位

沖縄県がん診療連携協議会
幹事長 増田昌人

今年度の協議会活動の重点事項について

令和4年度第4回協議会において、令和5年度に重点的に取り組む事項について、以下の5項目に決定した。重点項目について、進捗状況を報告する。

1 第4次沖縄県がん対策推進計画について、沖縄県へ提案する

ロジックモデルを用いて「第4次沖縄県がん対策推進計画（協議会案）」（以下、計画（協議会案））を作成し、沖縄県へ提案する。

→第1回協議会時点：ベンチマーク部会が主管して、計画（協議会案）を作った

→第2回協議会時点：計画（協議会案）の審議を行った。

→第3回協議会時点：8月25日に、沖縄県庁において、議長から沖縄県保健医療部長を通じて、沖縄県知事に提案を行った。

2 各専門部会のやるべきことを、改めてロジックモデルを用いて再定義する

「第4期がん対策推進基本計画（案）」と「新しい指定要件」を参考に、各専門部会でやるべきことを協議する。年間計画や、協議会での報告に関しても、ロジックモデルのどこに相当するものなのかを意識して報告するようにする。

→第1回協議会時点：6つの部会、それぞれの今年度最初の会議にて、年間計画をロジックモデルを用いて再定義しつつある。

→第2回協議会時点：審議は行っているが、決定までは至っていない。

→第3回協議会時点：各部会で、計画（協議会案）に基づき、フルロジックモデル（初期アウトカムと個別施策とそれぞれの指標が入った詳しいロジックモデル）を作成し、各部会およびワーキンググループで、協議を行っている。

→第4回幹事会時点：上記を継続している

3 協議会でやっている事業を始め、種々の評価指標が迅速に出るようにする

院内がん登録だけではなく、種々のデータが参照できるようにする

→第1回協議会時点：事務局（がんセンター）において、全国のがん医療のデータを一つにまとめたソフトを開発した。

→第2回協議会時点：沖縄県がん対策・評価指標データセット（暫定版）を8月4日の第2回協議会で委員には公開した。

→第3回協議会時点：大体整ったので、本日、一般公開について、協議を行う予定。

➡第4回幹事会時点：公開を行った。引き続き、改訂版を公開するための準備を行っている。

4 感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するため、BCPをまとめる

これまでの新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、二次医療圏ごとに事業継続計画を策定する。

→第1回協議会時点：医療部会が主管となって作成をすることが、第1回医療部会で決定した。

→第2回協議会時点：医療部会で着手していない

→第3回協議会時点：新型コロナ対策および災害対策を実質的に担っている医師等と協議を開始した

➡第4回幹事会時点：上記を継続している

5 精検受診率、特に大腸がんの精検受診率を向上させるために働きかける

→第1回協議会時点：大腸がん死激減プロジェクトが主管となって、改めて協議を開始した

→第2回協議会時点：審議はしたが、着手していない

→第3回協議会時点：プロジェクトで協議中である

➡第4回幹事会時点：上記を継続している